



# 生徒指導だより

福山市立城北中学校

生徒指導主事

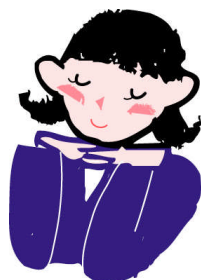
塚本 隆也

2012年(平成24年)1月10日 NO.9

## どんな自分になりたいですか？

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

新年を迎え、生徒の皆さんも、「よしがんばろう」という新たな決意を胸に秘めていることと思います。3年生にとっては自らの進路を決定する時期です。1, 2年生にとっても、進路について考えるのは早すぎるということはありません。みなさんの可能性は無限です。**自分ならできると強く思い、どんな自分になりたいのかをイメージしてください。**どんな自分になりたいのかははっきりすれば、今何をしなければならないかが分かり、自ら進んで取り組んでいけるはずですよ。



## 気持ちのいいあいさつをしよう

**あいさつは、人間関係を築く上での『潤滑油』のようなものです。**同級生、先輩、後輩、先生、地域の方、家族など、みなさんは色々な人と関わりを持って生活しています。そして、これらの人たちの支えがあって生活しています。

あいさつをされて嫌な気持ちになる人はいません。朝一番に笑顔であいさつをされれば、元気が湧いてくるし、安心して生活できます。それは、家庭でも学校でも地域でも、どこでも同じです。朝の「おはよう」で家族みんなが元気になります。保護者の方も、安心してみなさんを学校に送り出すことができます。学校でのあいさつは、何かモヤモヤした気持ちで登校してきた友だちを勇気づけることもできるでしょう。登下校中のあいさつは、地域全体が明るくなります。城北中学校は福山市の玄関口である福山駅に隣接しているので、みなさんの一言が福山市を元気にします。

このように、あいさつによってお互い気持ちよく付き合うことができます。また、支えてもらっている人たちに対して「ありがとう」と言う機会はあまりありません。その分、毎日の「おはよう」「さよなら」などの言葉に感謝の気持ちを込めてみてはどうでしょうか？自分の心も晴ればれとしますよ。

## 身なりを整えよう

これまでも、生活委員会の取り組みで服装点検を実施したり、『身だしなみを整えよう』というポスターを校内に掲示したりしてきました。先生から服装などに

ついて注意された人もいます。では、なぜ身なりを整えなければならないのでしょうか。

『適切な服装』をしている人は、社会において『適切に行動できる』人であると判断されます。見た目だけですべてを判断することはできませんが、見た目で見られる部分はかなりあります。このようなことを学ぶのも、社会で通用する力をつけるということも学校生活での目的の一つです。私服に比べて、制服は窮屈なところもありますが、その場に応じた身なりをすることを学校では勉強しています。「自分は授業や部活動などに一生懸命取り組むことができる」ということを、普段の身なりから表現しましょう。

## 授業の流れをつかもう

学校生活の中心は授業です。学校で多くの時間過ごしているのは授業です。難しい内容もあるし、それを理解しなければならないプレッシャーもあるでしょう。だからこそ、授業のおもしろさ、分かる喜びを実感してほしいのです。

授業には、先生が「どうなと思いますか？」「なぜそうなと思いますか？」などと質問し、みなさんが考える場面があるはずです。その場面を見逃さないようにしてください。授業がおもしろくなるポイントは、「なぜだろう」と疑問に思うことです。そして、「知りたい」「分かってほしい」と強く思う時が、勉強が一番身につくタイミングです。この「疑問に思う」→「考える」→「分かる」という授業の流れをつかめば、本時のねらいを達成し、分かる喜びが実感できます。



## 好きな勉強から始めよう

3年生にとって、今の時期家庭学習1時間というのはあまりにも少ない数字です。1, 2年生にとっても、小学校6年生の段階で家庭学習1時間というのが目標になっていたはずですから、それよりも目標が高くなるのは当然です。学習内容が小学校の時よりも多いのですから。

そうは言っても、なかなか家に帰ってから勉強ができないという人もいます。そういう人は、まずは自分が好きな勉強をやってください。「好きこそものの上手なれ」と言いますが、この言葉は「継続は力なり」につながります。好きなことは続けることができますからね。勉強をするということが当たり前になれるようになれば、少しずつではあるけど確実に力がついていきます。そして、自分の成長に気がついたとき、次への意欲がますます湧いてきます。

